

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	133706		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。											
事務事業名	姉妹都市協会運営支援事務						担当部局・課	市民部 まちづくり課						
事業内容	姉妹都市協会の運営費の一部を補助し、会員が各市町を相互に訪問する各種交流事業（おおむら夏越まつり参加・飯南町ふるさと体験ツアー実施・3市町の味覚の会開催等）の運営・支援を行う。						事業開始(予定)年度				B			
							昭和55年度							
							事業終了(予定)年度							
—														
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現											
		項目	きめ細かな地域福祉の推進											
		施策	総合的なコミュニティ施策の推進											
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年（H18～22年度）に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。													
事業の目的	姉妹都市協会の会員数を増やし、役員をはじめ会員一人ひとりが交流活動を主体的に、また積極的に行う事で、「夢と魅力のあるまちづくり」に寄与する。						予算費目 （複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。）		(款) 総務費 (項) 総務管理費 (事項) ふるさとづくり推進事業費 (目) 文化コミュニティ費					
事業費等の概算	平成17年度(決算)						平成18年度(予算)							
	事業費	1,625千円	財源内訳				事業費	1,083千円	財源内訳					
			国・県補助金等		—				国・県補助金等		—			
			市 債		—				市 債		—			
			その他(使用料等)		—				その他(使用料等)		—			
			一般財源(市税等)		1,625千円				一般財源(市税等)		1,083千円			
	投入人員	0.30人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)				投入人員	0.30人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)					
	人件費	2,570千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。				人件費	2,570千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。					
経費合計	4,195千円					経費合計	3,653千円							
活動指標	指標名(単位)		会員数（人）					計画と実績	年度		H17年度		H18年度	
	意味・算式等		—						区分	計画値		200		
										実績値		181		